



Japanese Society for Living Systems Design Research

デザイン生命工学研究会

会長 田川 陽



研究会設立趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

デザイン生命工学研究会は、複数種の細胞や細胞外マトリクスの秩序だった組織からなる哺乳類や高等植物、さらに、それらに共生する微生物や寄生するウイルスのコミュニケーションを総合的に理解した生命体シミュレーションとその *in vitro* システムを構築・応用する学問・技術の創設を目的に、平成 28 年 3 月 8 日に設立されました。

本研究会では毎年学術研究会を開催しており、これまでの大会においては、異分野間でも活発に討論をおこない盛会裏に終えております。本研究会の学術分野は、いわゆる従来の合成生物学がカバーしていない、異なる細胞間のコミュニケーションをデザインする研究、つまり、動物や植物の個体の異なる組織や器官を構成する細胞間、ミトコンドリア、葉緑体などの細胞内器官と細胞間、これらに共生・寄生する微生物やウイルスなどのコミュニケーションなどを題材に、実際の生物個体を用いたものばかりでなく、計算機や、*in vitro* システムによるシミュレーションも対象とし、さらに、これらの研究と社会とのコミュニケーションに関する研究、例えば、産業応用、知財、バイオセーフティ、バイオセキュリティ、生命倫理、といった研究も含まれ、非常に広範囲な領域にわたっており、それぞれの分野の専門家がお互いに交流を深めることで、我が国におけるこの分野のさらなる発展に努めております。

本研究会では一層の学術的発展を遂げ、社会に貢献する研究会を目指して努力していく所存でありますので、本趣旨にご賛同を頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

令和 2 年 3 月 1 日